

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成29年度第15回 (H28. 6. 7～H30. 6. 6)
開催日時	平成30年2月9日 (金曜日) 午後7時から午後8時30分まで
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：吉田委員、白井委員、田崎委員、田村委員、松尾委員 事務局：福田係長、樋口主査、編集委託 (富山)
議題	1 第14回西東京市男女平等推進センター企画運営委員会議事録の承認 2 情報誌パリティの20号について 3 男女平等推進センター企画運営事業について企画書提案 4 その他
会議資料の名称	資料 第14回会議録 (案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会議内容</p> <p>《開会》</p> <p>1 第14回西東京市男女平等推進センター企画運営委員会議事録の承認 (委員長) 第14回会議録の承認について意見があるか。なければ第14回会議録を承認とする。 (委員) 異議なし</p> <p>2 情報誌パリティ20号の編集について。 (編集者) 最終校の意見をまとめたので確認していただきたい。訂正があれば指摘いただきたい。 (委員) 表紙のP a r i t eの文字のうち、aが薄く、見えないので色を濃くしていただきたい。 (編集者) 文字を線で囲むようにするが、いかがか。 (委員) お願いしたい。 (委員) 3ページ3段目 (※) はなくとも意味が通じるので取っていただきたい。 (編集者) 承知した。 (委員) 4ページ1段目 気付けない→気づけない 意思決定に参画できない (結果、要望が届かない) →意思決定に参画できないので要望が届かない 5ページ目 ・障害のある人もない人も→障害のある人もない人と 下段 (※) はないほうが良い。 7ページ目 ・ステキに男女平等参画 寺子屋だるま→寺子屋 だるまと寺子屋とだるまの間半角あける。</p>	

8ページ目 登録団体紹介 終活がスムーズに出来て無い→終活がスムーズにできて無いとひらがなとする。

(編集者) 承知した。以上指摘のあったものを反映させて最終版とする。

3 男女平等推進センター企画運営事業について企画書提案

(委員長) 男女平等推進センター企画運営事業について。各委員より前回今回と企画を提出してもらったので、簡単な説明をお願いしたい。

(委員) 「産後がはじまった」講師渡邊大地氏 (アイナロハ代表) 自身の体験をとおして、新しい家族が増えるときに産前の教育はされるが、産後の「親になるため」の学習をすることで、夫婦関係がその後、良くなるか否かをパパの立場でお話いただく。他自治体でもワークショップを開催している。計画では、男女の固定的性別役割分担意識の解消に該当。

(委員) 「母娘関係、キレル私、ママ問題、いろいろ書いて考えた」講師田房永子氏 女性の生きづらさを浮き彫りにし、母娘関係、母、キレてしまうこと等多数の著書、講演を実施している。計画では、男女の固定的性別役割分担意識の解消に該当。参画週間で希望。

(委員) 「著名アナリストが教える日経新聞の読み方」講師清水洋介氏又は旭昌美氏 (株式会社アルゴナビズ代表) 正しい経済・金融知識を持ち市民が投資詐欺等の被害者となることを防ぎ、豊かな人生の一助となることを目指す。講師にはすぐに依頼可能。計画では経済活動における男女平等参画の推進に該当。日経新聞という題名としたが、特定新聞が不適當であれば別タイトルで可能。

(委員) 「マインドフルネスで自分を解き放つ (仮)」今話題の内容。ストレスの多い毎日で自分の今の心の動きを観察し、状態に気付く。ストレスとうまくつきあう。講師は今後交渉。女性の心とからだの健康支援。

(委員) 「パパ's 絵本プロジェクト 15周年ライブ」講師パパ's 絵本プロジェクト パパの育児参加を促す重要なツール「絵本」、ママが選ばないような楽しく笑える絵本をパパが読めば、育児が楽しくなり、育児参画、家庭参画が進むと考える。計画では男性の家事・育児・介護への参加促進に該当。対象はパパ限定ではなく、親子で参加も可。夏休み企画。

(委員) 「CSP講座『ほめる子育てをしよう』」講師NPO法人ワーカーズ・コレクティブちろりん村。CSPはコモンセンスペアレンティングの略。子育ての不安や孤立感の軽減。初めての子育てで迷う親に解決策を提案する。6回連続講座。対象は3歳以上就学前の子がいる親。計画では子育てへの支援。

(委員長) 事務局としてはいくつの企画を決定したいのか。

(事務局) 前回にもお願いしたが、現在の委員の任期中に来年度前半の講座を決めたい。6月の参画週間と夏休みごろまでの企画で、事前に講師に連絡をとらなければならないものについて決定したい。

ただし、現在平成30年度の予算が決定していないので、実際に交渉等できるのは4月初旬となる。3, 4企画優先順位をつけていただきたい。

この数年で企画の偏りが無いようお願いしたい。西東京市第3次男女平等参画推進計画も参考にしていきたい。

(委員) 参画週間として、田房さんはいかがか。

渡邊さんは夏以降でもよいが大まかな日程は欲しい。

(委員) 新年度が始まり、ストレスの多い次期である6月にマインドフルネスはどうか

(委員) 講師がはっきりしていると良いが、今難しいならば夏休み明けのメンタルへ

ルスとして考えるのはいかがか。

(委員) 経済の講座は講師にすぐ連絡がつくので、5月でも可能。

(事務局) 市報原稿の兼ね合いで考えると、早くとも5月終わりか6月の初旬でお願いしたい。

(委員長) それでは最初に経済の講座、参画週間は田房さんに交渉予定。夏休み企画としてパパ‘絵本プロジェクト、9月にマインドフルネスでいかがか。

(事務局) マインドフルネスは次回に講師を提示していただきたい。

(委員) 承知した。

(委員長) 秋以降の講座は新委員の意見もあるので、夏休みまでの講座を候補とするでよろしいか。

(委員) 異議なし。

4 その他

(事務局) 以前日程を決定した「懇談のつどい」は3月24日(土)午後1時30分からとなる。改めて案内を流すので、回答を願いたい。

(委員) 承知した。

(事務局) 次回は4月13日(金)となる。

(委員長) では、本日は散会とする。ありがとうございました。

《閉会》